

～南部盛岡の初夏を彩る伝統行事～

## チャグチャグ馬コ

チャグチャグと鈴の音を響かせて、色鮮やかな装束で着飾った60頭近くの農用馬が、滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡市の盛岡八幡宮までの約14kmの道のりをおよそ4時間かけて行進する伝統行事「チャグチャグ馬コ(うまっこ)」。

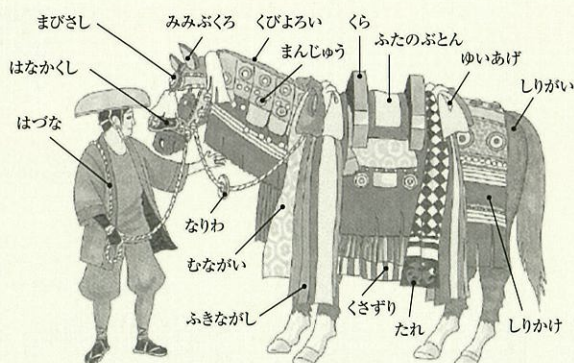
岩手県は全国有数の馬産地として名を馳せ、南部曲り家の茅葺き屋根の下で家族の一員として「馬コ(うまっこ)」を大事に扱ってきました。「馬」にちなんだ端午の節句に馬の守り神である「鬼越蒼前神社」へお参りをする「お蒼前参り(オソデマイリ)」をして、農耕に疲れた愛馬の無病息災を祈ったのが、チャグチャグ馬コの起源です。

その始まりは明らかではありませんが、寛政の頃になると、南部侯が参勤交代の大名行列に従った「小荷駄装束(こにだしょうぞく)」を身に着けた馬を曳いてお参りする者が現れ、たちまち流行を来たしたと言われており、時代の変遷を経ながら、現在の色鮮やかな装束に繋がっています。

昭和5年、馬好きで知られていた秩父宮殿下が「お蒼前参り」の時期に御来県した際、盛岡八幡宮まで足を延ばし、神前馬場で馬ぞろいをお見せしたのが、今のチャグチャグ馬コ行進の由来となっており、世界的にも類を見ない農用馬のパレードは、文化庁の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されているほか、チャグチャグという鈴の音は環境省の「残したい日本の音風景100選」に選定されています。

### チャグチャグ馬コの装束

大小異なる鈴は700個以上とも言われています。各家庭ごとに装束が異なり、一つ一つ手づくりで仕上げられています。



### 乗り手の姿



出馬者のご家族などが馬に乗り、沿道へ手を振る姿が見られます。

中には心地よい揺れで眠ってしまう子どもたちの可愛い姿もあり、観客に見守られながら盛岡八幡宮へ向かっていきます。



★記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財  
★残したい日本の音風景百選「チャグチャグ馬コの鈴の音」

ニューヨーク・タイムズ紙に  
選ばれた「盛岡」の伝統行事

「パレードの予定」  
滝沢市鬼越蒼前神社(9時30分出発)↓盛岡駅前(13時10分)  
↓桜山神社前(13時35分)↓盛岡八幡宮(13時55分)

令和6年  
6月8日(土)

南部盛岡

チャグ  
チャグ  
馬コ

CHAGU CHAGU  
UMAKO FESTIVAL  
チャグチャグ馬コ保存会事務局  
「お問い合わせ」☎〇九九六三三八三九一

